



石門

心學子道乃悟

二篇下

9
3895
6



門 9
號 3895
卷 6

早稲田大學圖書館
昭和 27.6.16 受
藏 書

後序之續

昔者原の原屋は花房といふ名を以て女房が居てそれより
毛むねの事とてこののが幾人といふ救うごうい。ありつゝとやま
すが。その頃或は代々縁の寿命が何つとていづきも酒は
碎れぬ。れもぐらゝをふ。とはおろし。一人の男が云
まん。い。や。維り何といふてもおきよ。か。お。日。ぬ。く。お。き。い。そ
貴系で當時の全盛ありてやの花房と二世は契として
起誓とかせ。捨す。切せ。男だと自勝と。志す。た。ま。は。ば
又一人の男がいつい。まん。い。そ。り。や。ど。や。も。合。意。な。ゆ。り。ぬ。そ
む。麻。ハ。お。き。ふ。こ。そ。ん。中。城。た。て。命。で。も。異。る。とい。ふ。起。誓。

小説道話 卷六 一編

るべく嫌おむとい存ドまぬが。そこが若界れ身のかゝ
 しさどろぞ不便とおぼしや。清地忠おされて下さり
 ませと。泪おがふ所といひました。あうーナアといひ
 あがら。泪をわろく。とこぢり。ごも新みんたうんで
 清ざつて。誰取とさしてのやされぬが。あのみ技の記書
 のうちよ。たつと一技とさく。美實んよ思ひのそく。これ
 け小指といやうよ。切てよ。もどざります。その清方の
 胴歌お。うりまことり清とあふ。大仲おびが。ありそな
 どの外。の清方もおる。やうやう。さぐひ。清いおされう。こ
 りやまをうり。げ怒り。ゆと。と。といひ。平伏。う。う。又

ん。よ。か。貴い。泣。して。そ。り。や。む。ド。や。こ。一。同。よ。け。ら。ん。や。お。取。ぬ。く
 お。思。ひ。ま。ん。の。実。よ。お。ま。ま。よ。い。つ。ど。や。あ。ま。が。お。つ。き。さ。み。も。わ
 る。又。あ。も。は。て。長。さ。さ。ふ。見。ま。い。今。あ。ま。が。美。實。の。ま。と
 じ。よ。お。ま。が。も。い。ち。が。い。の。な。い。と。一。ん。が。思。ひ。一。ん。も。ま。ま。あ。い
 鴨。番。よ。ま。ら。う。と。起。振。を。と。指。と。振。く。な。ら。う。せ。ね。や。う。よ。ま。ら。う
 と。あ。て。情。い。れ。皆。さ。ぬ。清。さ。れ。へ。ま。の。た。や。う。な。う。と。お。ま。い
 く。よ。麻。呂。城。立。出。二。三。町。か。る。風。俗。で。ス。め。ら。く。ま。思。ひ
 ま。ん。い。や。でも。お。ま。ま。ま。い。い。な。い。う。ま。ま。お。あ。つ。て。の。花。扇。が
 ん。中。小。も。喧。嘩。な。く。お。の。よ。で。あ。ら。う。ど。ち。よ。う。と。ま。て。改。正
 け。て。後。い。ら。う。と。う。い。ふ。ん。て。麻。呂。城。乃。お。び。く。お

合あはしむし。むむいいののううおおごごりりまますすががゆゆくくああららししくくおお程程のの
 あるものよおおひひりり六六社社下下がが商商賣賣也也。むむりりまますす程程のの
 ううつつままたたるるがが。おおののももくくららじじ惚惚りりままりりととんんでで合合と
 程程ののそそののううけけ程程のの赤赤五五社社時時々々ととのの中中ううおおがが
 ここいいつつ簡簡持持てていいつつわわ。可可否否ををんん解解はは何何おおししつつてても。
 尺尺窓窓試試おおししつつににおおししつつ身身へへ何何おおししつつてても
 鼻鼻ととおおししつつ類類ととおおししつつりりととらら中中ううおお。激激磨磨ははどども
 我我ののなないい。ああららううししののままののててああつつてて。誠誠小小孔孔子子はは修修ととも
 をを意意をを必必をを固固をを我我ででああるる者者。遠遠ののいいままいいまま
 ととゆゆふふたたととてていいつつととくくららとと。丁丁度度方方圓圓のの意意。ままととららとととと

のの厚厚車車ああつつとといいみみもも角角ももなないい水水の中中ううままととののななれれど
 表表とと裏裏でで堅堅氷氷ああるるとといいるるおおははややままよよつつけけ。いいつつららるらよよ
 ややははいいをを中中うう。積積利利根根ととののよよななつつてて。才才でで多多おお給給
 一一ははくくももまますす。ああららししつつりりややははいい昔昔れれ吐吐とといいつつりり皆皆振振
 師師ののおおさされれてて。結結わわどど一一流流。其其後後の中中ううままとと立立後後てて
 考考てて見見るるとと北北中中うう。積積智智意意のの一一人人。第第一一者者すするる寺寺がが
 考考ももああるるもののよよ。をを能能授授へへ今今度度ててねねがが皆皆振振つついい
 ちちいい。扱扱逆逆ののかかののままいいととままででほほごごりりまますすたた。おおおおととまま
 ててほほごごりりまませせおおののいいまますすとと慕慕好好のの人人。慕慕れれるるうう
 ととああららてて慕慕のの出出とと一一葉葉好好のの人人。一一葉葉ののままりりととおおりりよよてて

糞糟^{くそぞう}や。あの火^{あな}焼^やくつゝも火^{あな}と焼^やしてあると。ごんが
 園^{うゑん}りとも悪^{あく}の網^{あみ}法^{ほう}おのしやがまかまら。たの清^{きよ}ら火^{あな}焼^や、
 明^{あき}るお一^{ひと}星^{ほし}に形^{かたち}ななる。園^{うゑん}の悪^{あく}一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やら火^{あな}焼^やを
 仕^{つか}中^{ちゆう}のたふとの火^{あな}焼^やよんごらなり。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 て^あ善^{ぜん}のいなん中^{ちゆう}の火^{あな}焼^やよんごらなり。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 初^{はつ}めやのよ。うゝくするごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 も知^しまぬ。おふくごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 おふくごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 きよつて。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 まら。小^{せう}百姓^{ひやくしやう}の嫁^{よめ}が姑^{おばあ}と殺^{ころ}す。ごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを

と。わらう。その中^{ちゆう}の火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 ごとく嫁^{よめ}一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 んどませぬ。不^ふ調^{てう}法^{ほう}よ。ごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 りませぬ。たふの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 て。ごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 ひ。あるまらう。そこで姑^{おばあ}も又^{また}火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 もい中^{ちゆう}の火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 ら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 あるまらう。おふくごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを
 よくお來^こて居^ゐるといふ。ごんごら。火^{あな}焼^やの火^{あな}焼^や一^{ひと}星^{ほし}に火^{あな}焼^やを

妾てこゝ嫁夫を離れあつふをふらう。すあ来て大煙へ
 あつふ中まのやと。いつくも嫁も又流しへ妾でたのく
 ありぐふぞんし。まのまのどかき長いとの。あなと
 まへは老年。どぞは冷あさね中。佛用ふおされ
 て下さうませといふ。そこで又流さぬもお終つあく下
 さるのふ志りおまへ着てても用ふするがよのぞんぞんぞ
 焼くね中ふ。さうしやまやといつくと嫁も又たよく
 ありぐふぞんし。まのまの。初の怪おたぐひ物の中
 ぶ。おまぐくの鬼おねお睦じ。これがな終お對
 して。新縁なりといふは佛の奇合どや。ありやこの嫁姑

たりうしやたふそん。主婦の中てもまのまの。ぞんか我勝
 お主婦ても。普礼の盃扱あつて。すのまのでもまの。その
 時おたふふ。まの。まの女房の愛のたつとつ也。
 如房も又まのまの。一ふ不礼。これも阴阳合辨の人といふ
 字々減るふお来て居る。いすうおと自然侍りう大や福
 うんそ居るなう。何とおひてあろ。扱もく人回ること
 けまのいすいすのしや。あれううんまの。おまおり中うお
 高生い流るし。まのしや。あのとあうし。知れぬ回しつおへ
 奇合。おたふふは齒扱むつり飛つし。あうく。あうく。あ
 くの歯合する。人言のあの中う。知れぬ回しつ奇合

てもたういふに後りいして夫婦のさうづさなるれば
 妻は夫婦の礼あり。嫁姑のさうづさなるれば、
 礼儀あり。夫を感んず。ちういひあるまひ。そんなうけ嫁
 姑も姑儀の人のいふ文書に就て。つさぬ中ううて。大や
 插し笑つまね中うおし。居まよふ。月日のたつては、今て
 照くは。のんら。うすうなる。ほい。多葉つらひも舞う
 なる。互ふいふ。さうづさ中うおもなる。あふま。と
 さる中う。さなる。さふなる。此今といふ字。我化被けく
 と。う。さ。おし。て。姑の嫁と。呼おも。大さ。あ。あ。り。ま。い。く。こ
 ちや。中。嫁。夫。と。い。ふ。中。う。さ。なる。嫁。も。又。大。さ。あ。あ。り。ま。い。く。と。あ。

中
 宣し。の。い。や。の。ま。と。い。ふ。中。う。お。なる。と。て。何。宣し。の。い
 維。の。い。の。う。と。む。り。ま。と。さ。う。や。お。ま。の。の。中。う。ら。あ。ん。ま。り
 し。や。う。と。互。角。と。お。り。け。と。さ。う。い。う。と。さ。う。め。り。ま。い
 呼。な。ん。と。は。ま。ふ。と。さ。う。い。ひ。の。あ。も。知。ね。る。網。法。と。め。と
 つ。さ。嫁。り。の。い。ま。は。は。な。り。あ。し。と。さ。う。い。ふ。も。英。目。の。十。人
 並。ま。ん。と。う。麼。塚。ら。拾。ひ。あ。け。ら。ま。と。さ。う。い。ふ。も。あ。る。い
 何。屋。の。ま。あ。と。い。ふ。聡。と。い。ふ。親。軍。も。あ。る。もの。お。ま。の。の。後
 中。も。な。り。ま。ん。ま。の。い。う。と。姑。も。又。さ。う。い。ひ。の。日。の。い。ふ。ま
 歳。の。よ。る。眼。の。う。す。と。い。う。と。さ。う。い。ふ。頃。は。遠。き。ま。よ。の。う。い。に
 て。お。れ。の。ま。の。眼。も。能。ん。と。い。ふ。も。是。も。遠。き。あ。あ。り。ま。ん。と。う

何と云ふことまじつける。を名とやんは隠して。つゝら
 仕らするゆゑ。まふゆゑかゝるもの。人間の叫ぶ天の
 笑む電のごじとつて。天が清輝いおさうらうら。や。ね
 又清よおも。かやうあふひ。まあなり。けせぬうで。は
 舞のけきで。照く輝あが言うなら。て後い。あんあ
 しても。かまひい。い。清よも。ら。ら。の。よ。あ。ど。た。た
 ども。つ。か。う。な。ら。ど。も。持。て。お。れ。ぬ。う。ら。その。ち
 み。年。目。子。の。捕。れ。は。吟。味。な。ら。ま。う。こ。こ。ら。た。は。導
 突。こ。ら。ど。し。て。殺。し。て。鉄。と。お。伏。よ。お。よ。び。ま。う。と。あ。そ。の
 清。城。下。で。二。日。驛。の。う。居。村。で。磔。よ。か。ま。ま。う。こ。が。その

女れ素い二十のちやうやうで。清がうまう。又亭も。か
 して。お。つ。科。よ。う。つ。て。鉄。門。の。島。あ。り。ま。う。と。そ。も。威。は。十
 三。と。う。や。ゆ。何。と。お。そ。う。ら。の。ど。や。な。へ。は。お。そ。う。や
 い。鉄。い。元。来。ま。あ。何。お。う。ら。も。と。ら。つ。と。不。審。う。つ。て。は
 ら。う。と。ま。せ。何。お。も。作。交。介。う。ら。ま。う。と。の。ど。や。な。へ。積
 不。善。之。家。い。必。餘。鉄。あ。つ。て。平。た。そ。の。者。の。版。の。中。に
 お。れ。が。く。の。心。ら。う。は。く。ら。う。と。造。地。鉄。と。や。さ。ら。い。う
 て。人。い。思。心。学。れ。お。し。よ。由。て。本。来。を。我。の。心。と。糸。ま
 年。以。目。お。れ。が。く。と。版。か。ま。う。と。雪。い。氷。と。お。く。と
 と。何。お。も。知。ぬ。元。の。赤。子。は。清。い。ん。と。立。後。に。主人。大

